

紅の夢[®]

くれないのゆめ

「紅の夢ジュース」は、りんごの果肉が赤いので果汁が綺麗な色に仕上がりました。皮ごと搾ったものが赤いジュースで、果肉だけで搾ったものがピンクのジュースです。酸味が強いのが特徴で、そのままでも飲むか水やお酒で割って、味わいをお楽しみください。



2つの偶然から生まれたりんご「紅の夢」

「紅の夢」は、紅玉にスターキングデリシャスを交配したのに予想外の花粉が付いたこと。また、輸入される際入れ替わっていたのか、なぜか赤くなる品種が日本にやってくる。この2つの偶然がかさなり誕生したりんごです。

DNA鑑定によって、母品種は「紅玉」でした。父品種は、「エターズゴールド」というラベルの付いた木だとわかりました。しかし、「エターズゴールド」は果皮も果肉も黄色いことから、弘前大学農学生命科学部附属藤崎農場にある「エターズゴールド」は本物ではなく、父品種は今も不明のままです。こうした偶然が重なりあつて誕生した「紅の夢」は、神様が長年りんごの研究を続けてきた塩崎名誉教授にくれたプレゼントなのかもしれません。

果肉にも含まれているアントシアニン

「紅の夢」には、天然の赤色素であるポリフェノールの一種「アントシアニン」が含まれています。果肉を赤く色づかせるこの「アントシアニン」は、抗酸化作用があります。

「紅の夢」は、この大事な「アントシアニン」が果肉にも存在していることがわかっています。

「紅の夢ジュース」には、二〇〇ミリリットル当たり、約四八ミリグラムのポリフェノールが含まれています。

塩崎 雄之輔 弘前大学名誉教授

1943年、旧浪岡町生まれ。66年に弘大農学部園芸農学科を卒業後、弘前大学農学生命科学部附属藤崎農場（現・農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場）に助手として採用され、75年に助教授、2000年に教授に昇任。08年に定年退職するまでの42年間、同農場に一貫して勤務し、数々の業績を残した。現在も客員研究員として剪定ばさみを握り、後進をサポートしている。





創業百二十四年(明治二十三年)いっちゃん林檎農園、五代目園主の田中一彦です。
 当園のある青森県板柳町は、津軽平野のほぼ中央に位置する小さな町ですが、豊かな
 土壌に恵まれた、りんご栽培の歴史も古いらんこの名産地で、消費者の方に安全・安心な
 りんごをお届けできるよう、「りんごまるかじり条例」を制定しています。
 当園では、「板柳町まるかじり条例協定事業者」として、「安全・安心なりんご作り」に取り
 組んでおり、平成二六年からはEM農法も取り入れてしています。
 ※EM菌とは十二種類の微生物が含まれており、土壌に散布することにより土を豊かにし、林檎の樹
 木も病気に強くなり、甘く美味しい林檎が収穫できます。



創業者 田中 英

明治二十三年、三反歩(三二アール)のりんご園を開園。その後一五町歩(二五ヘク
 タール)に拡張し、「南岡園」と呼ばれ県下有数のりんご園であったりんごの熱心
 な研究者で、常に栽培研究を重ね、いち早くシームトラクターを導入し機械化も
 図った。シンクイ虫克服のため、初めて袋掛けを実施。津軽蘋果組合を設立
 し、「青森県りんご同業会」役員なども勤め、共同化、流通面にも貢献した。(板柳
 町ふるさとセンター 資料館より抜粋)

向上心と真心を忘れることなく、
 皆様が癒やされるような美味しいりんごを
 作れるよう精進いたします。

神様がくれた奇跡のりんご...

紅の夢®

いっちゃん林檎農園

6次産業認定事業者・板柳町まるかじり条例協定事業者
 エコファーマー認定番号 西北-1847号

〒038-3644

青森県北津軽郡板柳町大字横沢字富永44-11

TEL 070-6494-5748

FAX 0172-72-0299

E-mail: icchanandchiichan@yahoo.co.jp

http://www.harvestmarket.jp/icchan/